



平成30年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年11月13日

上場会社名 株式会社ロジネットジャパン
コード番号 9027 URL <http://www.loginet-japan.com/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 木村 輝美
問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画管理本部副本部長 (氏名) 橋本 潤美
四半期報告書提出予定日 平成29年11月14日

上場取引所 札

TEL 011-251-4114

配当支払開始予定日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	27,091	2.9	1,286	11.9	1,285	13.6	918	17.3
29年3月期第2四半期	26,323	1.3	1,149	71.4	1,132	69.4	783	14.5

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 910百万円 (6.5%) 29年3月期第2四半期 855百万円 (32.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	150.55	
29年3月期第2四半期	128.29	

(注) 当社は、平成29年10月1日を効力発生日として普通株式2株につき1株の割合で株式併合を実施しております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第2四半期	29,544	9,538	31.6	1,532.41
29年3月期	27,962	8,820	31.0	1,419.50

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 9,348百万円 29年3月期 8,664百万円

(注) 前連結会計年度の期首に株式併合が行われたと仮定して、1株当たり純資産を算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期				15.00	15.00
30年3月期					
30年3月期(予想)				30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 平成30年3月期(予想)の1株当たり期末配当金及び年間配当金については、株式併合の影響を考慮した金額を記載しております。詳細につきましては、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	55,200	4.2	2,420	10.7	2,400	10.3	1,500	0.7	245.75

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注) 平成30年3月期の連結業績予想における1株当たり当期純利益につきましては、株式併合の影響を考慮しております。詳細につきましては、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期2Q	7,010,681 株	29年3月期	7,010,681 株
期末自己株式数	30年3月期2Q	909,904 株	29年3月期	906,765 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期2Q	6,101,951 株	29年3月期2Q	6,104,345 株

(注)前連結会計年度の期首に株式併合が行われたと仮定して、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている将来の業績及び計画等に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる場合があります。

2. 当社は平成29年6月28日開催の第12期定時株主総会において、単元株式数の変更、株式併合及び発行可能株式総数の変更に係る議案が承認されました。これに伴い、平成29年10月1日を効力発生日として、当社普通株式の売買単位である単元株式数を1,000株から100株に変更し、普通株式2株につき1株の割合をもって株式併合を実施いたしました。なお、株式併合を考慮しない場合の平成30年3月期の配当予想及び連結業績予想は以下の通りです。

- (1) 平成30年3月期の配当予想
- | | |
|----------|--------|
| 1株当たり配当金 | 15円00銭 |
|----------|--------|
- (2) 平成30年3月期の連結業績予想
- | | |
|------------|---------|
| 1株当たり当期純利益 | 122円88銭 |
|------------|---------|

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8
(追加情報)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業の設備投資等において慎重な姿勢が見られたものの、雇用環境の改善や個人消費の持ち直しなどにより、緩やかな回復基調で推移しました。物流業界においても、運賃単価の引き上げなどによる収益改善はあるものの、人材確保のための労働環境の改善や原油価格の上昇などコスト負担は増加しており、依然として厳しい経営環境が続いております。

このような状況のもと、当社グループは昨年度からスタートした中期経営計画に基づき、新たな事業分野への積極的な参入や長距離幹線輸送の新しい輸送サービスの開発・販売など、東名阪での区域事業に事業主体を移行するとともに、既存の物流網の見直しや、変化する市場環境、経営環境に即した組織再編、社内制度の整備を進めるなど、将来を見据えた取組みを進めてまいりました。

その結果、札幌通運グループにおいては、本州地区での新規事業の取扱増加や、引き続き適正運賃の収受を推進したことなどにより、営業収益は前年同期比10億7千3百万円増(+5.7%)の198億4千4百万円、セグメント損益については前年同期比1億8千6百万円増(+26.3%)の8億9千4百万円となりました。

一方、中央通運グループにおいては、鉄道利用運送部門の業績が安定的に推移したものの、建設運輸部門の業績が伸び悩んだことから、営業収益は前年同期比6千5百万円増(+2.0%)の33億3千2百万円、セグメント損益については前年同期比1千9百万円減(△8.5%)の2億7百万円となりました。

また、ロジネットジャパン西日本グループにおいては、前事業年度の顧客の入れ替えの影響もあって、営業収益は前年同期比3億8千3百万円減(△9.6%)の36億2千4百万円、セグメント損益は前年同期比1億1千8百万円減(△49.4%)の1億2千1百万円となりました。

これらの結果、当社グループ全体の営業収益は、前年同期比7億6千8百万円増(+2.9%)の270億9千1百万円となりました。営業利益は前年同期比1億3千6百万円増(+11.9%)の12億8千6百万円、経常利益は前年同期比1億5千3百万円増(+13.6%)の12億8千5百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比1億3千5百万円増(+17.3%)の9億1千8百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期末の総資産は、前期末から15億8千1百万円増加し、295億4千4百万円となりました。

このうち、流動資産は営業未収入金、その他流動資産の増加などにより13億7千2百万円増加し、103億4千1百万円となりました。また、固定資産は車両の取得などで2億8百万円増加し、192億2百万円となりました。

当第2四半期末の負債は、前期末から8億6千3百万円増加し200億6百万円となりました。

このうち、流動負債は営業未払金の増加などにより12億6千1百万円増加し、162億1千3百万円となりました。また、固定負債は長期借入金の返済を進めた結果3億9千7百万円減少し、37億9千2百万円となりました。

これらの結果、純資産は7億1千8百万円増加し95億3千8百万円となり、純資産から非支配株主持分を控除した後の自己資本比率は31.6%となりました。

キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は前連結会計年度より3千6百万円減(△7.2%)の4億7千5百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により増加した資金は10億3千2百万円(前年同四半期は7億1千2百万円の増加)となりました。主な要因は税金等調整前四半期純利益14億5千8百万円によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により減少した資金は3億5千6百万円(前年同四半期は6億5千7百万円の減少)となりました。主な要因は有形固定資産の取得によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により減少した資金は7億1千3百万円(前年同四半期は6億2千9百万円の減少)となりました。主な要因は長期借入金の返済によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成29年5月12日発表値から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	512,657	476,149
受取手形	782,702	818,083
営業未収入金及び売掛金	6,375,343	7,566,754
たな卸資産	56,788	69,261
繰延税金資産	145,834	95,160
その他	1,102,869	1,325,069
貸倒引当金	△6,908	△8,688
流動資産合計	8,969,287	10,341,789
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,509,746	3,564,881
機械装置及び運搬具(純額)	4,728,717	4,977,658
リース資産(純額)	826,295	826,967
土地	5,967,975	5,967,975
その他(純額)	397,816	410,439
有形固定資産合計	15,430,551	15,747,922
無形固定資産	217,734	219,363
投資その他の資産		
投資有価証券	1,126,566	1,059,991
繰延税金資産	181,631	184,905
差入保証金	1,558,812	1,522,439
その他	489,227	479,019
貸倒引当金	△10,949	△11,114
投資その他の資産合計	3,345,289	3,235,242
固定資産合計	18,993,575	19,202,528
資産合計	27,962,862	29,544,318

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形	815,819	911,943
営業未払金及び買掛金	4,591,487	5,192,320
短期借入金	6,425,775	6,394,600
リース債務	186,330	204,986
未払法人税等	351,444	438,569
役員賞与引当金	68,375	-
資産除去債務	66,767	-
その他	2,446,744	3,071,532
流動負債合計	14,952,744	16,213,953
固定負債		
長期借入金	2,702,332	2,303,689
繰延税金負債	244,965	234,460
リース債務	656,580	643,827
役員退職慰労引当金	167,440	186,670
退職給付に係る負債	207,133	220,004
資産除去債務	12,100	11,750
その他	199,345	191,685
固定負債合計	4,189,897	3,792,086
負債合計	19,142,641	20,006,039
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,000,000	1,000,000
資本剰余金	567,929	567,929
利益剰余金	7,616,985	8,352,503
自己株式	△535,140	△542,778
株主資本合計	8,649,774	9,377,655
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	14,713	△28,782
その他の包括利益累計額合計	14,713	△28,782
非支配株主持分	155,732	189,405
純資産合計	8,820,221	9,538,278
負債純資産合計	27,962,862	29,544,318

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
営業収益	26,323,818	27,091,982
営業原価	24,257,603	24,739,938
営業総利益	2,066,215	2,352,043
販売費及び一般管理費	916,800	1,065,724
営業利益	1,149,414	1,286,319
営業外収益		
受取利息	6,442	4,694
受取配当金	28,482	24,511
寮収入	20,865	26,197
その他	48,742	44,516
営業外収益合計	104,531	99,918
営業外費用		
支払利息	43,247	30,335
寮支出	44,251	57,896
その他	34,390	12,223
営業外費用合計	121,889	100,455
経常利益	1,132,057	1,285,783
特別利益		
出資金持分払戻益	-	180,309
その他	-	40
特別利益合計	-	180,349
特別損失		
固定資産除売却損	5,670	4,367
減損損失	5,350	-
投資有価証券売却損	-	2,534
その他	-	1,075
特別損失合計	11,020	7,978
税金等調整前四半期純利益	1,121,036	1,458,154
法人税、住民税及び事業税	313,943	462,725
法人税等調整額	17,857	40,956
法人税等合計	331,800	503,682
四半期純利益	789,235	954,472
非支配株主に帰属する四半期純利益	6,105	35,835
親会社株主に帰属する四半期純利益	783,130	918,636

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)
四半期純利益	789,235	954,472
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	65,898	△43,495
その他の包括利益合計	65,898	△43,495
四半期包括利益	855,134	910,976
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	849,027	875,140
非支配株主に係る四半期包括利益	6,106	35,835

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,121,036	1,458,154
減価償却費	671,738	682,744
減損損失	5,350	-
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△13,795	1,944
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△60,675	△68,375
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	10,691	12,871
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	9,390	19,230
受取利息及び受取配当金	△34,924	△29,205
支払利息	43,247	30,335
投資有価証券評価損益(△は益)	-	1,075
有形固定資産売却損益(△は益)	△12,351	△8,169
有形固定資産除却損	7,025	4,981
出資金売却損益(△は益)	-	△180,309
売上債権の増減額(△は増加)	△282,290	△1,226,792
たな卸資産の増減額(△は増加)	△5,612	△12,472
仕入債務の増減額(△は減少)	△140,892	696,956
未払消費税等の増減額(△は減少)	68,100	△104,823
未払金の増減額(△は減少)	7,588	379,215
その他	△167,363	△248,510
小計	1,226,263	1,408,850
利息及び配当金の受取額	36,536	36,609
利息の支払額	△44,743	△38,286
法人税等の支払額	△505,333	△374,384
営業活動によるキャッシュ・フロー	712,722	1,032,789
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△699,420	△602,927
有形固定資産の売却による収入	59,620	26,566
無形固定資産の取得による支出	△48,155	△32,686
投資有価証券の取得による支出	△87,075	△2,502
投資有価証券の売却による収入	-	20,115
貸付けによる支出	△2,491	△4,376
貸付金の回収による収入	2,152	14,015
差入保証金の回収による収入	138,867	132,923
出資金の回収による収入	-	188,815
その他の支出	△60,500	△96,250
その他の収入	39,889	109
投資活動によるキャッシュ・フロー	△657,113	△356,197
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	700,000	164,517
長期借入れによる収入	270,000	500,000
長期借入金の返済による支出	△1,364,708	△1,094,336
リース債務の返済による支出	△111,052	△90,663
自己株式の取得による支出	△274	△7,637
配当金の支払額	△122,087	△183,117
非支配株主への配当金の支払額	△1,083	△2,163
財務活動によるキャッシュ・フロー	△629,206	△713,399
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△573,597	△36,807
現金及び現金同等物の期首残高	3,897,092	511,857
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,323,494	475,049

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	札幌通運 グループ	中央通運 グループ	ロジネット ジャパン西 日本グループ	計		
営業収益						
外部顧客への営業収益	18,770,444	3,267,403	4,008,332	26,046,180	277,638	26,323,818
セグメント間の内部営業収益 又は振替高	890,018	217,717	434,674	1,542,411	780,748	2,323,159
計	19,660,463	3,485,120	4,443,007	27,588,591	1,058,386	28,646,978
セグメント利益	708,096	227,069	239,379	1,174,545	450,124	1,624,669

(注) 「その他」は、持株会社である当社の営業収益及びセグメント利益であります。営業収益は本社ビルの賃貸収入、飲料水の販売収入、グループ会社からの受取配当金及び経営指導料であり、受取配当金がセグメント利益に与える影響額は472,290千円であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,174,545
「その他」の区分の利益	450,124
受取配当金の消去	△472,290
その他の調整額	△2,964
四半期連結損益計算書の営業利益	1,149,414

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

ロジネットジャパン西日本グループが運営するゴルフ練習場の資産グループについて、閉鎖の意思決定をしたことにより当該資産グループに係る固定資産の回収可能価額が大きく低下したと判断したため、当該資産グループに係る資産の帳簿価額を回収可能額まで減額し、5,350千円を減損損失として計上いたしました。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	札幌通運 グループ	中央通運 グループ	ロジネット ジャパン西 日本グループ	計		
営業収益						
外部顧客への営業収益	19,844,241	3,332,925	3,624,418	26,801,585	290,396	27,091,982
セグメント間の内部営業収益 又は振替高	908,084	233,380	723,446	1,864,911	897,682	2,762,593
計	20,752,325	3,566,306	4,347,864	28,666,496	1,188,079	29,854,575
セグメント利益	894,209	207,736	121,190	1,223,136	444,822	1,667,958

(注) 「その他」は、持株会社である当社の営業収益及びセグメント利益であります。営業収益は本社ビルの賃貸収入、飲料水の販売収入、グループ会社からの受取配当金及び経営指導料であり、受取配当金がセグメント利益に与える影響額は380,042千円であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,223,136
「その他」の区分の利益	444,822
受取配当金の消去	△380,042
その他の調整額	△1,597
四半期連結損益計算書の営業利益	1,286,319

(追加情報)

(単元株式数の変更、株式併合及び発行可能株式総数の変更)

当社は、平成29年5月12日開催の取締役会において、平成29年6月28日開催の第12期定時株主総会に、単元株式数の変更、株式併合及び発行可能株式総数の変更について付議することを決議し、同定時株主総会で承認可決され、平成29年10月1日でその効力が発生しております。

(1) 株式併合及び単元株式数の変更の目的

全国証券取引所は、「売買単位の集約に向けた行動計画」を発表し、すべての国内上場会社の普通株式の売買単位を100株に統一することを目指しております。

当社は、札幌証券取引所に上場する会社として、この趣旨を尊重し、当社株式の売買単位である単元株式数を1,000株から100株に変更することとし、併せて、証券取引所が望ましいとしている投資単位の水準（5万円以上50万円未満）に合わせるとともに、中長期的な株価変動も勘案し、株式併合（普通株式2株につき1株の割合で併合）を実施するものであります。

(2) 株式併合の内容

① 株式併合する株式の種類

普通株式

② 株式併合の方法・比率

平成29年10月1日付で、平成29年9月30日の最終の株主名簿に記載された株主の所有株式数を普通株式2株につき1株の割合で併合いたしました。

③ 株式併合により減少する株式数

株式併合前の発行済株式総数（平成29年9月30日現在）	14,021,363株
株式併合により減少する株式数	7,010,682株
株式併合後の発行済株式総数	7,010,681株

(注) 「株式併合により減少する株式数」及び「株式併合後の発行済株式総数」は、併合前の発行済株式総数及び株式併合の割合に基づき算出した理論値であります。

(3) 1株未満の端数が生じる場合の処理

株式併合の結果、1株に満たない端数が生じた場合には、会社法の定めに基づき、一括して処分し、その処分代金を端数の生じた株主に対して、端数の割合に応じて分配いたします。

(4) 効力発生日における発行可能株式総数

15,000,000株

株式併合の割合にあわせて、従来の30,000,000株から15,000,000株に減少いたしました。

(5) 単元株式数の変更の内容

株式併合の効力発生と同時に、普通株式の単元株式数を1,000株から100株に変更いたしました。

(6) 株式併合及び単元株式数の変更の日程

取締役会決議日	平成29年5月12日
株主総会決議日	平成29年6月28日
株式併合及び単元株式数の変更の効力発生日	平成29年10月1日

(7) 1株当たり情報に及ぼす影響

当該株式併合が前連結会計年度の期首に行われたと仮定した場合の1株当たり情報は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額	128.29円	150.55円

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。